

基本事業コード	1301000100	担当課所名	大滝国保診療所
基本事業名	大滝国保診療所管理運営事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	2	安心できる医療のまちづくり
	施策	2	公的医療機関の充実
			総合振興計画 91 ページ

基本事業の概要	大滝診療所は、大滝管内の唯一の診療機関であるが、この地域は高齢者が多く、地区も点在しているため患者送迎バスを運行し、安全で安心して診療が受けられるよう運営を行っている。
---------	--

対象	診療所利用患者
意図 (対象をどのようにしたいか)	安全で安心して診察を受けてもらう

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
年間診療患者数		人	5,456	5,500	5,096	5,500	
送迎バス患者利用者数		人	1,510	1,550	1,460	1,550	
1日あたりの送迎患者利用者数		人	6.3	6.4	6	6	
研修参加職員数		人	6	6	6	6	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	診療所維持管理事業	指標	年間患者数		5,500	人	C	◎
			4,882,288	4,200,461	6,135,000		維持	拡充
02	研究研修事業	指標	研修参加職員		6	人	A	
			19,051	5,376	44,000		維持	維持
03	歯科医師確保	指標	歯科診療患者数		400	人	A	○
			6,581,600	6,816,800	7,052,000		維持	維持
04	歯科技工物委託事業	指標	技工物件数		68	件	B	○
			394,201	215,282	480,000		維持	拡充
05	送迎バス運行事業	指標	送迎バス患者利用者数		1,600	人	A	
			2,120,464	1,872,000	1,872,000		維持	維持
06	診療所事務機器使用事業	指標	年間患者数		5,500	人	B	
			669,920	708,995	2,600,000		維持	拡充
07	診療所医療機器使用事業	指標	年間患者数		5,500	人	A	
			1,118,670	879,480	1,434,000		維持	維持
08	団体負担金事業	指標					A	
			818,000	518,000	838,000		維持	維持
09	医療用消耗品器材事業	指標	年間患者数		5,500	人	B	
			633,738	404,395	762,000		縮小	維持
10	医薬品衛生材料事業	指標	年間患者数		5,500	人	B	
			34,960,727	34,561,742	35,040,000		縮小	維持
11	臨床検査委託事業	指標	検査件数		430	件	A	
			790,400	1,096,600	1,200,000		維持	維持
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 55,750,000 54,426,000

事業費の合計(円) (A) 52,989,059 51,279,131 57,457,000

財源内訳	国庫支出金	6,228,000	5,964,000	5,605,000
	県支出金	15,993,000	14,398,000	14,039,000
	地方債			
	その他特定一般財源	30,768,059	30,917,131	37,813,000

正規職員	業務量	7.00人	6.00人
	人件費(B)	41,595,792	35,653,536
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	1.00人	2.00人
	人件費	1,872,000	3,744,000

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 94,584,851 86,932,667

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C, B	B, C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	休廃止	D	x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は、安全で安心して治療を受けていただくことを目的としている。患者利用者数の減少は、大滝地域の減少や高齢化によるもので、増加していくには診療患者の地域拡大が必要と考えられる。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 大滝地域から荒川地域まで地域を拡大して増加を図ってきているが、診療患者数及び患者利用者数は依然として減少傾向にある。診療所維持管理事業の中で診療所の老朽化が問題とされている。診療所は築31年経過しており、ボイラー等の修理や交換、修繕等が必要である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 大滝地域は、高齢化率が高く、過疎化が進んでいるため、唯一の医療機関として、国、県の補助を受けて市が行うことが妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 安全で安心して治療をうけていただくという意図を達成するために地域の拡大を実施し、患者数や利用者数を増やしていきたいため、重点化する事業として選択した。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案		
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案	大型ボイラーの代用品として、各部屋に石油ファンヒーターを設置し、故障時の対応と経費の削減を図る。	診療所は築31年を経過し、施設の修繕が必要な時期にきている。特にボイラー施設は老朽化しているため、部品がなく修理できないことから新たな設備が必要である。 各部屋の使用頻度を調査し、新たな大型ボイラーでなくても対応できないか調査を行った。
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案	診療所を受診される患者さんの中には、ひざの悪い方が多くいるため、和式タイプのトイレを利用しやすい洋式タイプのトイレに改修する必要がある。	施設の老朽化に伴い水道やトイレ等の修理が必要である。また、バリアフリーの対応が出来ていない箇所が多いので利用者が安全で安心して受診できるように新たな施設(特にトイレ)の修繕が必要である。 現状のトイレを改修することにより、車椅子でも利用することができないか調査を行った。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 患者さんが安心して来診できるよう、周囲の環境や施設の整備を図る。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	木村 雄次	電話番号 0494-55-0341
----------------------	-------	----------------------